

平成 31・令和元年度 事業概要及び報告

1 はじめに

当財団は、設立趣旨ならびに寄付行為に基づき、首里城に関する展示資料の収集等を目的とした首里城基金が設置され、基金の造成、管理及び運用の諸事業を実施している他、首里城公園等に関する調査研究、普及啓発等の事業を行っている。詳細については、下記のとおりである。

2 財団の事業概要 (※一部抜粋)

◆首里城に関する調査研究事業 (1) 正殿漆塗装関連資料の調査研究 (2) 在外首里城関連文化財の調査研究 (3) 御後絵の調査研究 (4) 首里城正殿三御飾等道具の調査研究 (道具類の製作及び往時の製作技法の復元)	◆首里城に関する普及啓発事業 (1) 琉球王国関連資料の展示 (2) 首里城講座の実施 (3) 首里城見学会の実施 (4) 図録や小冊子等印刷物の発刊 (5) 出前講座 (6) 体験学習会の実施 (7) 地元団体との連携事業の実施 (8) 職場体験、研修生等の受け入れ
◆その他の事業 (1) 共同研究事業の実施 (大学等)	

3 平成 31・令和元年度事業報告

1) 首里城に関する調査研究事業

(1) 首里城の歴史、伝統美術品等に関する調査研究

① 御後絵復元制作

これまで既に完成した「尚育王御御絵」、「尚灝王御後絵」の彩色模写復元に続き、平成 29 年度より「尚穆王御後絵」の彩色模写復元を実施した。平成 31 年度は表装具の製作を行い完成した。

② 在外首里城関連文化財の調査研究

過年度に収集した海外の琉球関連文化財のリストの整理作業を継続して行った。

③ 首里城正殿三御飾復元制作業務

かつて首里城正殿において正月儀式で使われていた「三御飾道具及び御床飾道具」の復元製作を実施した。漆芸品では軍配・采配について房の制作を行い完成した。

(2) 首里城正殿漆塗装材等に関する調査研究

正殿等復元建造物の維持管理技術に関する調査研究では、塗装材料として県内での安定的な塗料開発を行う為、弁柄の生産試験等について関係機関と調整を行った。

2) 首里城に関する普及啓発事業

(1) 南殿二階特別展示室において、「The Ryukyu Red」、黄金御殿特別展示室ならびに書院にて「王家の秘

宝」を行った。

7月からは南殿二階特別展示室、黄金御殿特別展示室、そして沖縄県立博物館・美術館の博物館企画展示室と特別展示室にて「THE KUMIODORI 300～組踊展～」を行った。

- (2) 首里城を中心とする琉球の歴史文化について県民に広く普及啓発し、首里城公園の利用促進するため首里城講座を実施した。
- (3) 来園者の入館促進及び満足度向上を目的とし首里城見学会を実施した。公園内施設の詳細な解説を行ったほか、企画展の展示の解説会や日影台（日時計）の時間測定体験など様々な見学会を実施した。
- (4) 沖縄の歴史文化に関する知識の普及啓発を推進するため、県内の小・中学生の歴史文化学習に対し助成を行った。
- (5) 首里城公園の普及啓発を目的として那覇市内の小学校・中学校・高校を対象に出前講座を実施し、パンフレットやワークシートを活用し琉球の歴史文化や首里城公園内の各施設について解説を行った。
- (6) 首里城公園の支援団体である「首里城公園友の会」が主催する文化講演会等の事業実施に対して助成を行った。
- (7) 岡崎市美術博物館「琉球の美」、渋谷区立松濤美術館「美ら島からの染と織 - 色と文様 - 」をはじめ那覇市歴史博物館や浦添市美術館に資料貸出を行い、県外の企画展に関しては資料解説も行った。